



平成29年5月23日

「物流センタ改善報告会」を開催しました

株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ（代表取締役社長：安部徳行、本社：東京都大田区、以下「NTTロジスコ」）は、平成29年4月27～28日に「物流センタ改善報告会」を開催いたしました。

NTTロジスコグループでは、サービス品質・生産性向上のため、日頃からTPS（トヨタ生産方式）の手法をベースとした2S・改善活動や日次収支管理、レイバーコントロール等の徹底に取り組んでおり、活動の成果を年に2回報告しております。今回は全国の物流センタ等から選抜された18チームが参加しました。

《優良3チームの改善の概要》

チーム	改善概要	業界・取扱品
A	I. 商品に品名や商品コードの表示が無く類似品も多い物流において、商品の判別ポイントを解説した画像をタブレット端末に表示させる仕組を構築したことにより、検品作業が標準化され、高品質な作業が誰にでもできるようになった。 II. ロケーション番号の表示について、段毎に色を変えたり、格納時にスキャンするバーコードの位置を変更するなど、ヒューマンエラーを防止する工夫を行ったことにより、入荷作業時におけるハンディターミナルでの棚番号の読み間違いを削減し品質を向上させた。	工事材料品
B	I. 商品により様々な流通加工を施すことが求められる作業において、商品ごとに作業手順書を探すことで時間を要していたが、各作業台に設置されたディスプレイに作業仕様や注意事項を表示できる仕組を構築したことにより、生産性と品質を向上させた。 II. ペーパー管理をしていた作業記録をシステムで自動記録できる仕組みにし、作業記録をデータ管理することで手書き・転記のムダを無くし作業の効率化を図ったことにより生産性を向上させた。	医療機器
C	I. 返品商品の再生作業ラインの整流化を図り、再生待ち商品の滞留を解消。併せて、情報の一元管理を行い、保管効率と生産性を向上させた。 II. 複数フロアにまたがって実施していた返品作業を、1フロアで実施できるように作業場所の集約を行ったことにより、倉庫内での搬送回数が減少し稼働が削減された。	通販



今回評価された改善手法を全社に水平展開していくとともに、TPSの手法をベースとした2S・改善活動をLGPS（Logiscope Production System）として進化・定着させ、改善活動をさらに推進していくことで、今後もお客様にローコストかつ高品質なサービスを提供してまいります。